

井林

いばやし

たつり

通信 第六十六号

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所：自由民主党本部
東京都千代田区永田町1-11-23
電話：東京03 (3581) 6211 (代)

自由民主党
静岡県第二選挙区支部
〒426-0037
藤枝市青木3-13-8
TEL 054-639-5801
FAX 054-639-5802
Mail office@t-ibayashi.com
井林たつりのり国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館919号室
TEL 03-3508-7127
FAX 03-3508-3427

日本銀行 金融政策決定 会合出席報告

日本経済を左右する緊迫の議論



衆議院議員 井林たつりのり



ポスター掲示をお願いします。
ご協力頂ける際は事務所にご
連絡下さい！

生年月日 昭和51年7月18日
住 所 藤枝市本町
本 籍 榛原郡川根本町(お茶農家)
【経歴】京都大学工学部卒業、同大学院環境工学修了
平成14年より国土交通省勤務、平成22年6月退官
平成24年12月初当選(四期目)
平成28年8月環境・内閣府大臣政務官
令和3年11月自民党 財務金融部会長
静岡県サッカー協会中西部支部 会長
【家族】妻・長女・次女
【趣味】野球、水泳【好物】焼魚、白米、お茶

自民党での 自由民主党 静岡県支部連合会 会長就任 活動状況 ～党の立て直しが求められます～

報道もなされましたが6月10日の自民党静岡県連大会において、県連会長に推薦され就任致しました。政治家としても当選四期、閣僚経験ありませんが研鑽を積む時期だと認識しています。私自身も、子育て中であり、人生勉強中と思っています。

そんな私が、党員数全国9位の大きな県連の会長を拝命する。責任が重く、プレッシャーに押しつぶされそうな気持ちになります。

また、静岡県知事選挙・政治不信からの立て直し。迫りくる衆議院選挙に向けて、2つも選挙区の候補者が不在(空白区は全国でも11選挙区のみ)であり早期の候補者選定が求められています。

そして県連会長を受けた以上、全員当選はもちろんですが、自らの選挙区もなんとしても勝ち抜かなければなりません！

皆様の、これまで以上のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

井林たつりのり のスマイルメッセージ

第1・第3・第5<水曜日>FM島田 (76.5MHz)
放送；8:10～再放送；18:35～
ネットでも聞けます (<http://www.jcbasimul.com/>)

井林たつりのりに支援を！

派閥が解散したので、今後の人事は、集めた党員の数で評価されポストが与えられることになりました。自民党の為ではなく「井林たつりのり」の政策実現に、お力を与えてください。党費は年4,000円(家族党員2,000円)です。下記FAX頂くか、電話(054-639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えください。

FAX 054-639-5802

お名前 _____
※入党は個人名のみとなります。
住所 〒 _____
TEL/FAX _____ 生年月日 _____



副大臣拝命も
今後は党員数でポストが
決まる！

日本銀行金融政策 決定会合出席報告

日本経済のに大きな影響を及ぼす日本銀行金融政策決定会合

多くの方に「出てるの見たよ！」と言われる日本銀行の金融政策決定会合について報告します（と言っても、議論の中身は10年後の公表なので、議論の流れですが）。一年間に8回開催される、日銀の金融政策決定会合は財務省と内閣府（経済・財政担当）から一名ずつ出席します。

【会合初日】

日本銀行の金融政策決定会合は二日間にわたって行われます。初日は、午後からスタート。日銀事務局から金融経済情勢の説明を受けます（内閣府は事務方が出席）。夜、その内容の説明を事務方から受けて、翌日の私の発言内容や発言ラインをした打ち合わせします（もちろん大臣に確認します）。

【会合二日目】

決定会合出席前に、通信機器（携帯・PC等）を日銀職員に預けたうえで金属探知検査を受けます（会合出席者全員受けるそうです）。報道で使われる写真は、実は決定会合出席者が変わった初会合で代表のマスコミが撮影を行います（つまり、使いまわしです）。

二日目の会合は九時スタートです。そして、政府からの出席者は財務副大臣・内閣府副大臣（私、井林です）のみで、事務方は一人も出席していません。

決定会合二日目の流れ

以下、日本銀行 金融政策決定会合二日目の9時に開会してからの、議論の流れを紹介いたします。

①金融経済情勢について

（初日の事務局からの説明を踏まえて）委員による意見陳述→議長（日銀総裁）のポイントまとめ→さらなる委員の討議

～休憩～

※この時の様々な話はとても楽しく勉強になります

②金融政策運営方針について

委員による意見陳述→議長によるポイントまとめ→さらなる委員の討議

③政府からの出席者の意見陳述

議長からの指名を受け、財務副大臣、**内閣府副大臣の順で発言。**

※政策変更の場合など、政府発言の前に、会議の一時中断を要請し、発言内容の修正等を各副大臣はそれぞれの大臣に確認することがある。

④議案のとりまとめ

日銀事務局から読み上げ→**財務副大臣・内閣府副大臣は退室**→採決→両副大臣再入室→採決結果確認

以上で閉会しますが、機密保持のために決定事項（採決結果）の公表まで待機がかかります。

日本銀行は政府から独立して金融政策を行います。ですので、決定会合での政府からの発言は一回のみであり、採決（金融政策決定）時には退席するなど独立性担保に最大限配慮します。

また、決定内容やその議論の過程はマーケットに大きな影響を及ぼすため、内容の公表もルール化されています。約一週間後の「主な意見」、約二か月後の「議事要旨」、そして「議事録」は10年後に公表となっていますので、決定会合の内容を私が紹介することは出来ません。マーケットの混乱防止やインサイダー疑惑防止の為にご理解を頂ければ幸いです。

植田日銀総裁は牧之原市出身ということもあり親近感があります。そんな親近感を信頼関係に発展させながら、日銀の目的である「物価の安定と金融システム安定」が実現し、政府の経済財政政策が車の両輪のようにスムーズに連携することによって、日本経済の発展と・豊かな国民生活の実現に向け力を尽くしていきたいと思っております。



決定会合の写真・動画
実は使いまわしです
メンバーが変わったときのみ撮影します

